# 関西大学協賛の「第２回大阪マラソン」開催

## ◉関大生ボランティアの「全力疾走」　新たにチャリティ募金活動を展開

関西大学が協賛する「第２回大阪マラソン」（大阪府・大阪市・一般財団法人大阪陸上競技協会主催）が2012年11月25日に開催された。沿道には118万8000人が詰めかけ、3万人あまりのランナーに声援を送った。協賛団体として大会運営に協力する関西大学からは第１回大会に続き、給水ボランティア、語学対応ボランティアとして多数の学生が参加した他、新たにチャリティ募金ボランティア活動を展開し、チャリティマラソンの大会精神のアピールに貢献した。

OSAKA MARATHON 2012 × THINK × ACT KANSAI UNIVERSITY

### 400人の関大生が３万人のランナーに給水を行う

関大生による給水ボランティア400人は2011年に引き続き、5km地点の給水所を担当した。マラソンランナーにとって、給水はライフライン。5km地点は最初の給水ポイントであるだけに、ランナーが給水カップを確実に受け取れるよう、何度もリハーサルを重ねて万全の態勢で臨んだ。当日は、ボランティアが抜群のチームワークで対応し、給水は順調に行われた。

前回大会に続いて参加した学生も多く、前回の体験が効果的に生かされた。今大会初めてチャレンジランのランナーとして参加した楠見晴重学長が5kmの給水所に立ち寄り、学生たちにねぎらいの声をかけた。学生たちから給水とともに激励を受けた楠見学長はその後も力走し、好タイムで完走した。

### 声をからしてチャリティを呼びかける

選手たちが駆け抜けていく大阪マラソン沿道イベント会場である大阪市中央公会堂前と大阪大林ビル前で、関大生によるチャリティ募金ボランティアが活動した。目的は、大阪マラソンがチャリティで運営されている大会精神を訴えてチャリティを呼びかけることだ。

学内での募集に応じたチャリティ募金ボランティアは総勢24人。おそろいのスタッフウエアに身を包み、募金箱を抱えて声をからしながらチャリティを呼びかけた。

### 外国語対応、ランナー盛り上げ隊として大会をサポート

前回大会に続き、関大生による語学対応ボランティアが活躍した。今大会には英語と中国語に精通した合計16人の同ボランティアが、総合案内所で外国人ランナーらの問い合わせに応じた。そのほか、中央公会堂前、大阪市西南環境事業センター前で、応援団や学生3団体（チアリーディングサークル「CLAIRS」、ダンスサークル「Belly Divas」、学生チーム「漢舞」）が日ごろの鍛錬の成果を披露し、大会をもり立てた。ランナー盛り上げ隊をはじめ、沿道ボランティアから熱い声援を受けた関西大学特別枠参加のランナー18人は本学オリジナルウエアを着用し、2011年同様、全員が完走を飾った。

◀外国人ランナーの問い合わせに応じる「語学対応ボランティア」

▼完走を飾った関西大学特別枠参加のランナー

### マラソン学の連載記事が話題に 関西大学教授陣が知見を披露し合う

大阪マラソンの魅力を関西大学の多彩な教育力・研究力でひも解く読売新聞の連載記事が話題を呼んだ。今回の企画は、宮本勝浩、藪田貫（やぶたつらぬき）、小田伸午、安田雪、弘原海剛（わだづみ）の5人の教授が記者のインタビューに応える形式で、それぞれの学問領域からマラソンにちなんだ知見を披露した。

読売新聞に連載された「教育力と研究力」

シリーズの初回で紹介した宮本教授の専門は理論経済学で、阪神タイガースの優勝波及効果研究などで知られる。連載企画では第1回大会から計算を続けている大阪マラソンの経済波及効果に言及し、身近な話題で経済と楽しく向き合う知恵を伝授した。記事は読売新聞に5回シリーズで連載されたほか、大阪マラソンファンクラブのウェブサイトにも掲載されている。

### RUNNING CAMPで市民選手を指導 NMB48福本愛菜さんも特訓

■メンタルトレーニングの公開講座も実施

大会本番に向けて、誰もが参加できるランニング教室「大阪マラソンRUNNING CAMP」が3回開かれ、市民ランナーらがランニングを改善するための実践的な指導を受けた。講師は五輪マラソン入賞者の中山竹通（たけゆき）さん、関西学生陸上競技連盟の水瀬安春副会長と、関西大学陸上競技部の武田夏実監督で、毎回100人が参加した。

最終3回目は本学と共催で、「大会直前、何をする？」をテーマに、関西大学千里山キャンパスで実施された。当日は2部形式で開催し、前半は「マラソンに使えるメンタルトレーニング講座」として武田監督がメンタルトレーニングの手法などを伝授。後半は、中山さんらによる実技指導を行った。参加者たちは最後のコンディション調整やレースに臨む心構えに関する中山さんや武田監督の説明に、熱心に耳を傾けていた。チャリティランナーとして今大会に参加したNMB48福本愛菜さんも、大会前に武田監督から特訓指導を受け、レースを完走した。

No Photo

武田夏実監督（左）に指導を受けるNMB48福本愛菜さん

## ダイキン工業株式会社と連携協力協定を締結

### ◉「フッ素化学講座」開講で共同研究展開へ

関西大学とダイキン工業株式会社は、教育・研究・人材育成、社会貢献などの分野で積極的に連携することを目的に、「連携協力に関する協定」を締結することで合意に達し、2012年11月28日、関西大学千里山キャンパスで協定書の調印式を行った。具体的には寄附講座「フッ素化学講座」を開講するとともに、これまでの共同研究をさらに充実させるため、研究用装置の寄附提供を得て、共同研究を本格的に進める体制を整える新たな協力関係を確認した。

既に2012年4月から千里山キャンパスにある関西大学ハイテク・リサーチ・コア内に共同研究スペースを設置。石川正司化学生命工学部教授らと「フッ素系電解液の高電圧正極への適用に関する研究」が進められており、今回の調印の運びとなった。

協定書に調印した青山博一ダイキン工業株式会社化学研究開発センター長（左）と楠見晴重学長